

令和8年3月20日に秋田県南秋田郡井川町から潟上市にかけて発生した突風について
～気象庁機動調査班による現地調査の報告～

3月20日19時30分頃、秋田県南秋田郡井川町北川尻（いかわまちきたかわしり）から潟上市飯田川飯塚（かたがみしいいたがわいいづか）にかけて発生した突風の種類は、ダウンバーストの可能性はあるものの特定に至りませんでした。その強さは風速約40m/sと推定され、日本版改良藤田スケールでJEF1に該当します。

3月20日19時30分頃、秋田県南秋田郡井川町北川尻から潟上市飯田川飯塚にかけて突風が発生し、住家の屋根のトタンのめくれ、非住家の屋根のトタンの飛散などの被害がありました。

3月22日、秋田地方気象台は、突風をもたらした現象を明らかにするため職員を気象庁機動調査班（JMA-MOT）として派遣し、現地調査を実施しました。調査結果は以下のとおりです。

1. 突風をもたらした現象の種類

この突風をもたらした現象は、ダウンバーストの可能性はあるものの特定に至らなかった。

（根拠）

- ・突風発生時に活発な積乱雲が付近を通過中であった。
- ・漏斗雲または移動する渦の目撃など、竜巻の発生を示唆する情報は得られなかった。
- ・突風は強雨を伴っていたという証言が複数得られた。

（特定に至らなかった理由）

- ・被害や痕跡、聞き取り調査から、被害をもたらした現象を推定できる情報が得られなかった。

2. 突風の強さの評定

この突風の強さは、風速約40m/sと推定され、日本版改良藤田スケールでJEF1に該当する。

(根拠)

- ・住家の屋根のトタンのめくれ、非住家の屋根のトタンの飛散

※この資料は、速報として取り急ぎまとめたものですので、後日内容の一部訂正や追加をすることがあります。

問合せ先：秋田地方気象台 担当：蒔苗、高橋（裕）
電話 018-864-3955

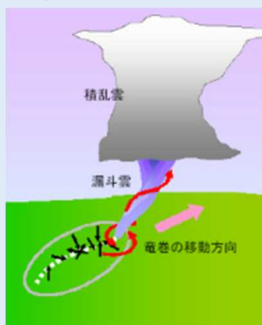
日本版改良藤田スケールにおける 階級と風速の関係

階級	風速 (3秒平均)	主な被害の状況 (参考)
JEF0	25~38m/s	<ul style="list-style-type: none"> ・物置が横転する。 ・自動販売機が横転する。 ・樹木の枝が折れる。
JEF1	39~52m/s	<ul style="list-style-type: none"> ・木造の住宅の粘土瓦が比較的広い範囲で浮き上がったりはく離する。 ・軽自動車や普通自動車が横転する。 ・針葉樹の幹が折損する。
JEF2	53~66m/s	<ul style="list-style-type: none"> ・木造の住宅の小屋組（屋根の骨組み）が損壊したり飛散する。 ・ワンボックスの普通自動車や大型自動車が横転する。 ・鉄筋コンクリート製の電柱が折損する。 ・墓石が転倒する。 ・広葉樹の幹が折損する。
JEF3	67~80m/s	<ul style="list-style-type: none"> ・木造の住宅が倒壊する。 ・アスファルトがはく離したり飛散する。
JEF4	81~94m/s	<ul style="list-style-type: none"> ・工場や倉庫の大規模な庇の屋根ふき材がはく離したり脱落する。
JEF5	95m/s~	<ul style="list-style-type: none"> ・低層鉄骨系プレハブ住宅が著しく変形したり倒壊する。

突風をもたらす気象現象

突風は、主に台風や前線などに伴う**発達した積乱雲から発生する一時的に強く吹く風**であり、家屋の損壊などの大きな被害をもたらすことがあります。

【竜巻】

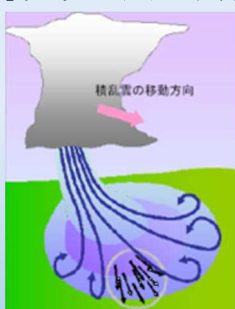


竜巻は、突風をもたらす代表的な現象です。激しい渦巻きでろうと状や柱状の雲を伴います。

被害域は帯状となることが多く、ゴーというジェット機のような轟音がすることがあります。

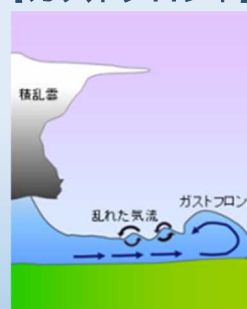
突風をもたらす現象には、他にも以下のようなものがあります。

【ダウンバースト】



積乱雲から吹き降ろす気流が地表に衝突して周囲に吹き出す激しい気流です。被害域は面的に広がります。強雨やひょうを伴うことが多いです。

【ガストフロント】



積乱雲の下に溜まった冷気が周囲に流れ出し、周囲の空気との間に作る境界です。水平の広がりは竜巻やダウンバーストより大きく、数十km以上に達することもあります。